

分散登校の意義

資料4

休業期間の長期化に伴う

①子どもの心身のケア

- ・大半の時間を家の中で過ごしている
- ・友だちや先生と会えない



②新学期に向けた生活リズムの回復

- ・毎日学校に通うための準備

感染予防策

- ◇ 家庭での健康観察、登校時の体温測定による
ダブルチェック
- ◇ 教職員の健康状態の確認
- ◇ 手指の消毒や手洗いの徹底
- ◇ 会場の十分な換気、清掃、消毒
- ◇ 子どもたちの間隔は2m程度（マスクがない場合）
- ◇ 風邪の症状がある場合は登校させない

実施方法

- ◇ 学年・学級・地区単位に分散して登校
- ◇ 体育館、地区会館等の公共施設も活用
- ◇ 初回は、感染予防の正しい知識と
実践方法を指導
- ◇ 当面、週1回60分程度
- ◇ 通常の授業とは異なり、欠席も可



- ・ 学校、地域の集会所
- ・ 時間差で登校
- ・ 学年や学級単位



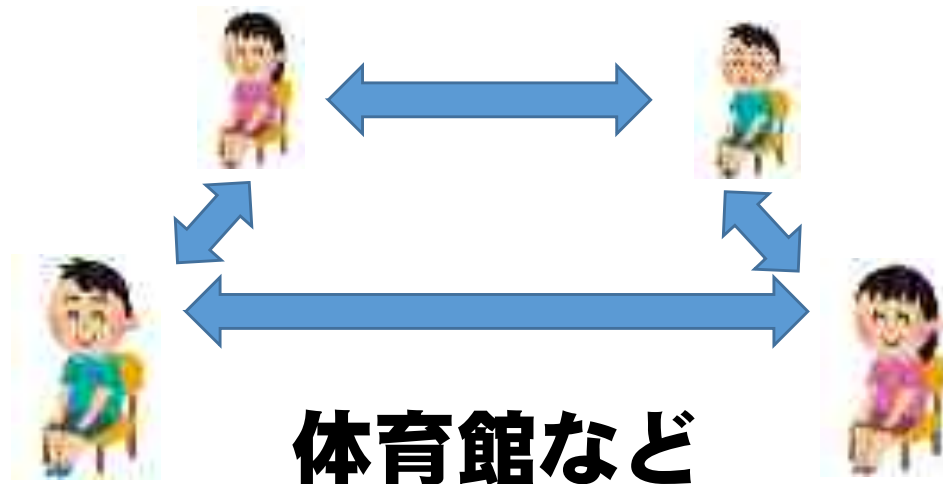
- ・ 家庭での健康観察、登校時の体温測定
- ・ 手指の消毒、手洗いの徹底
- ・ 子ども同士の接触を避けるため、教職員が誘導



① 感染予防の学習

② 心身のケア

③ 家庭学習のアドバイス



- ・ 十分な換気、清掃、消毒
- ・ 子どもたちの間隔は、2 m程度